

問1 室町時代後半の京都では、応仁の乱によって荒廃した町の復興を、有力な商工業者たちが中心となって進めました。彼らについて述べた文として、自治の仕組みや文化的な背景を踏まえて正しいものを選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 町衆と呼ばれ、自治組織を結成して祇園祭などの伝統行事を支える文化の担い手ともなった。
2. 会合衆と呼ばれ、濠や土塁を築いて大名の侵入を防ぎ、鉄砲の普及に大きく貢献した。
3. 座と呼ばれ、貴族や寺社に税を納めることで、商品の販売や製造の独占権を認められた。
4. 地侍と呼ばれ、農民をまとめて惣村をつくり、領主に対して年貢の減免を求める一揆を主導した。

問2 鎌倉時代に中国から伝えられた禅宗は、座禅などの厳しい修行を通じて自らを律する教えが武士の精神に合致し、広く普及しました。この禅宗の僧であり、墨の濃淡のみを用いて自然などを描き出す手法を大成させた人物は誰ですか。（2024年 歴史公立入試 類似）

1. 雪舟
2. 法然
3. 空海
4. 親鸞

問3 飛鳥時代から室町時代までの代表的な寺院建築を、建立された時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 法隆寺 → 東大寺 → 中尊寺金色堂 → 金閣
2. 東大寺 → 法隆寺 → 金閣 → 中尊寺金色堂
3. 法隆寺 → 中尊寺金色堂 → 東大寺 → 金閣
4. 東大寺 → 中尊寺金色堂 → 法隆寺 → 金閣

問4 室町時代の文化の特色について、特に慈照寺（銀閣）にある「東求堂同仁斎」に代表される建築様式とその背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。
2. 宋から伝わった大仏様という力強い建築様式が採用され、民衆の力強さを象徴する巨大な木造建築が各地に建立された。
3. 貴族の住居様式である寝殿造を簡略化し、外観に金箔を貼ることで、武士の権力と浄土への憧れを視覚的に表現した。
4. 仏教の無常観に基づき、質素な隠遁生活を好む文人の精神を反映した、壁のない開放的な庵のような建築様式が流行した。

問5 室町時代の文化において、観阿弥・世阿弥親子が大成した芸能である「能」の成り立ちについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、武家社会の好みに合うよう芸術的に高めた。
2. 江戸時代初期に出雲の阿国という女性が始めた踊りが、音楽や演劇的要素を取り入れて発展した。
3. 平安時代に唐から伝わった音楽や舞踊が、日本の貴族の好みに合わせて宮中行事用に整理された。
4. 奈良時代から平安時代にかけて編纂された和歌集を基に、節を付けて歌い継ぐ芸能として成立した。

問6 室町時代に足利義満が始めた明との貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。この「勘合」を用いた主な目的として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 正式な貿易船と、当時沿岸部で活動していた海寇などの海賊船を区別するため
2. ポルトガル船との交易を奨励し、南蛮文化を積極的に取り入れるため
3. オランダ船の来航を特定の港に制限し、貿易を幕府の管理下に置くため
4. キリスト教の宣教師が貿易船に紛れて入国するのを防ぐため

問7 日本の歴史の流れを整理した年表において、室町時代の終盤に位置づけられ、安土桃山時代や江戸時代といった「近世」へと移り変わる直接的な転換点となった出来事はどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）

1. 足利義政の後継者争いから始まった応仁の乱
2. 北条泰時が御成敗式目を定めたこと
3. 足利尊氏が建武の新しい政治に反対したこと
4. 徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利したこと

問8 「明軍と倭寇の戦い」が描かれた資料と、「紫式部による国風文化」が描かれた資料を比較したとき、それぞれの時代背景を説明した組み合わせとして正しいものはどれか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 室町時代と平安時代
2. 鎌倉時代と平安時代
3. 室町時代と奈良時代
4. 江戸時代と鎌倉時代

問9 室町時代、足利義政の時代を中心に栄えた東山文化では、禅宗の影響を受けて「簡素さ」や「静けさ」を重んじる美意識が育まれました。この文化の代表例である龍安寺の庭園のように、水を使わず、石や砂だけで山水の風景を表現した造園様式を何といいますか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 枯山水
2. 寝殿造
3. 書院造
4. 唐造

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 町衆と呼ばれ、自治組織を結成して祇園祭などの伝統行事を支える文化の担い手ともなった。	京都の「町衆（まちしゅう）」は、法華一揆などを通じて団結を強め、自治的な組織を運営しました。彼らは単に経済活動を行うだけでなく、茶の湯、連歌、能楽、そして戦乱で中断していた祇園祭の再興など、中世から近世にかけての豊かな都市文化を支える重要な役割を果たしました。会合衆は堺、座は特権的な商工業者組合、地侍は武士化した農民を指します。
問2	<b>答え 1</b> 雪舟	鎌倉時代に伝えられた禅宗は、その精神性が武士に好まれ、室町時代にかけて水墨画などの独自の文化を生み出しました。雪舟は禅宗の僧として修行しながら中国（明）に渡って絵画の技法を学び、帰国後に日本の水墨画を芸術として完成させました。選択肢にある法然は浄土宗、空海は真言宗、親鸞は浄土真宗の開祖です。
問3	<b>答え 1</b> 法隆寺 → 東大寺 → 中尊寺金色堂 → 金閣	まず飛鳥時代（7世紀）に聖徳太子によって法隆寺（西院伽藍）が建立されました。次に奈良時代（8世紀）に聖武天皇によって東大寺が建立されました。続いて平安時代後期（12世紀）に、東北地方の奥州藤原氏によって中尊寺金色堂が建立されました。最後に室町時代（14世紀末）に、足利義満によって金閣（鹿苑寺）が建立されました。この順序は、日本の仏教建築の変遷と各時代の有力者の交代を反映しています。
問4	<b>答え 1</b> 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。	足利義満の時代に栄えた東山文化では、禅宗の影響を強く受けた簡素で奥深い美しさが尊ばれた。東求堂同仁齋に代表される書院造は、現代の和室に繋がる畳・障子・床の間といった要素を整えた様式である。他の選択肢のうち、大仏様は鎌倉時代、金箔を用いた豪華な様式（金閣など）は北山文化、無常観に基づく文学的背景は鎌倉時代の随筆などの特徴であり、東求堂同仁齋の説明としては適さない。
問5	<b>答え 1</b> 民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、武家社会の好みに合うよう芸術的に高めた。	能は、もともと農村や寺社で行われていた娯楽的な要素の強い「猿楽」や「田楽」を、足利義満という強力なパトロン（保護者）を得た観阿弥・世阿弥が、幽玄（奥深く、はかりしれない趣）を重んじる芸術的な舞台芸能へと昇華させたものです。
問6	<b>答え 1</b> 正式な貿易船と、当時沿岸部で活動していた倭寇などの海賊船を区別するため	足利義満は明の皇帝から「日本国王」としての封じられ、朝貢という形式で貿易を行いました。この際、明の正式な貿易船であることを証明し、当時私的な交易や略奪を行っていた倭寇と区別するために、勘合（勘合符）という割印のある札を照合させる仕組みがとられました。このため、日明貿易は勘合貿易とも呼ばれます。
問7	<b>答え 1</b> 足利義政の後継者争いから始まった応仁の乱	歴史の区分において、応仁の乱は中世（室町時代）から戦国時代への大きな分かれ目とされています。この戦乱によって室町幕府の権威が崩壊したことが、のちの織田信長や豊臣秀吉による天下統一、そして近世への歩みにつながる重要な前提条件となりました。
問8	<b>答え 1</b> 室町時代と平安時代	勘合貿易を行い倭寇の取り締まりを行ったのは室町時代の幕府の役割である。一方、紫式部の執筆活動や国風文化の隆盛は、摂関政治が行われていた平安時代の文化的な特徴である。
問9	<b>答え 1</b> 枯山水	龍安寺の石庭に代表される「枯山水」は、禅宗の精神を背景に、限られた空間の中で大自然や宇宙を表現しようとした室町時代の造園様式です。水を用いずに白砂の紋様で水の流れを、石の配置で山や島を表現するのが特徴です。